

令和元年度事業評価

課別評価シート

【資源環境部 環境政策課】

目 次

1 各事業の進捗管理	P. 1
2 【住環境】分野の事業の評価	P. 3
3 【環境保護】分野の事業の評価	P. 4

このシートでは、基本構想の実現に向けて、目指すべき中間アウトカムと、それを達成するための手段を整理しています。

各課ではこのシートを活用し、計画事業の進行管理を行うとともに、中間アウトカムの達成の観点から自己評価を行い、計画事業の今後の方向性を検討します。

評価の対象となる計画事業	
事業番号	事業名
住07-01	公害防止指導
住07-02	歩行喫煙等の防止啓発
環02-01	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進
環02-02	文京ecoカレッジ
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進

※事業番号は、「基本構想実施計画」に掲載している番号を使用しています

課題の発見及び今後の方向性を記載にあたっては、以下の点を参考としてください。

《検討の視点》

課題の洗い出し

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化 ○中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化 ○中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度
(事業実績の推移) | <ul style="list-style-type: none"> ○左記の他、事業実施に当たり、必要となる考え方
(例) ・「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付 ・障害を理由とした差別の解消・合理的配慮 ・男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮 など |
|--|---|

見直す必要のある計画事業を抽出

方向性の検討

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体（民間活力の活用）
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携（整理・統合）
- 新規事業の必要性
- 投入する資源（予算・人員）の最適化・再配分

【方向性の類型】

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 拡充 → 計画していた事業内容から、量・対象を拡充するもの 改善・見直し → 計画していた取組手法を改善・見直しするもの 終了予定 → 今年度中に終了を予定しているもの | <ul style="list-style-type: none"> 現状維持 → 事業の対象・質、コストとも変わらないもの 縮小 → 計画していた事業内容を縮小するもの 終了済 → 昨年度までに終了した事業 |
|--|---|

1 各事業の実施状況(進行管理)

基本構想実施計画に掲げた事業量を達成するために、各計画事業の実施状況をチェックし、課題があるものについては、その内容と改善策を記載します。

事業番号		事業名		中間アウトカム				
住07-01		公害防止指導		住環境(C)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	石綿分析費用助成(H29年度まで)	件	0				0	
	石綿等調査分析専門員派遣(H30年度より)	件		2			2	6
事業費(千円)			0	11,771				
行政コスト(千円)			-	-			進捗の課題	有
所要人員			0.261	0.789				
進捗の課題と改善策		石綿に関する相談(平成30年度実績21件)を申請に結びつけることが課題です。事業内容の周知方法を改善し、区民が利用しやすい環境の整備が必要です。						

事業番号		事業名		中間アウトカム				
住07-02		歩行喫煙等の防止啓発		住環境(C)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	周知啓発キャンペーン	箇所	23	23			46	67
	屋内喫煙所設置助成	件	1	2			3	9
事業費(千円)			31,129	31,333				
行政コスト(千円)			37,050				進捗の課題	有
所要人員			0.898	0.906				
進捗の課題と改善策		東京都受動喫煙防止条例制定等により、喫煙マナーの向上が求められています。こうしたことから、歩行喫煙等の防止に向けた周知啓発キャンペーンは引き続き積極的に行うとともに、民間設置による屋内喫煙所の整備を進めてまいります。						

事業番号		事業名		中間アウトカム				
環02-01		温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進		環境保護(B)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	地球温暖化対策地域推進協議会	回	2	2			4	8
	クールアースフェアの来場者数	人	368	238			606	1,150
事業費(千円)			5,736	9,060				
行政コスト(千円)			16,490				進捗の課題	有
所要人員			1.662	1.676				
進捗の課題と改善策		クールアースフェアの来場者数が減っているため、周知拡大を図ってまいります。						

事業番号		事業名		中間アウトカム				
環02-02		文京ecoカレッジ		環境保護(B)				
				H29	H30	H31	累計	3カ年計画
主な取組	環境ライフ講座	回	6	9			15	24
	リサイクル推進サポーター養成講座	回	1	1			2	3
事業費(千円)			2,435	2,457				
行政コスト(千円)			-	-			進捗の課題	無
所要人員			2.901	3.177				
進捗の課題と改善策								

事業番号		事業名			中間アウトカム		
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境保護(A)			環境保護(B)		
		H29	H30	H31	累計	3カ年計画	
主な取組	新エネルギー・省エネルギー機器設置費助成	件	91	95		186	390
	事業費(千円)		18,264	13,383			
	行政コスト(千円)		30,357			進捗の課題	有
	所要人員		1.729	0.822			
進捗の課題と改善策	補助実績が下がっている助成対象機器は見直しを行い、省エネ効果の高い機器等をメニューに追加し、普及促進のため周知活動を行います。						

2 【住環境】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【資源環境部 環境政策課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画

中項目	4-1 住環境
将来像	だれもが住み続けたい・住みたくなる快適で魅力的なまち

中間アウトカム(C)

安全・安心な生活環境が整備されている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
住07-01	公害防止指導	環境政策課	石綿の飛散が防止されている	現状維持	現状維持
住07-02	歩行喫煙等の防止啓発	環境政策課	喫煙マナーが向上し、地域美化が推進されている	改善・見直し	改善・見直し
前回の評価結果の内容	区民との協働により、歩行喫煙と吸い殻のポイ捨て防止活動等を行い、喫煙マナーの向上に努めていますが、さらなる地域美化を推進するため、キャンペーンや巡回指導等の活動や民間喫煙所の整備をより一層図っていきます。				
前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	区民と協働のキャンペーンを行い、個別巡回の回数を増やし、巡回指導及び路面シート等の啓発物の掲示を実施しました。また、民間喫煙所を2か所整備しました。				
課題及び今後の方向性の内容	東京都受動喫煙防止条例制定等により、喫煙マナーの向上が求められています。こうしたことから、今後も、巡回指導の委託業者や関係各課と連絡を密に取り、対応を行います。また、民間喫煙所整備に努めていきます。				
住01-02	再開発事業の推進	地域整備課	市街地の防災性が向上し、良好な住環境が形成されている		
住03-01	バリアフリー基本構想の推進	都市計画課	ハードとソフトの両面から、区全体のバリアフリー化が進められている		
住03-02	バリアフリーの道づくり	道路課	区道のバリアフリー化が進められている		
住03-03	公衆・公園等トイレの整備	みどり公園課	だれもが快適に利用できる公衆・公園等トイレが整備されている		
住04-01	マンション管理適正化支援事業	住環境課	適正なマンション管理が行われている		
災対03-02	不燃化推進特定整備地区(不燃化特区)事業の推進	地域整備課	耐火性の高い建物への建て替えが進んでいる		
災対03-04	区道870号無電柱化事業	道路課	歩行空間の安全性・快適性が向上している		
災対03-04	シビックセンター改修	施設管理課(保全技術課・整備技術課)	シビックセンターのユニバーサルデザインの充実が図られている		
安03-03	コミュニティ道路整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		
安03-05	自転車走行空間整備	道路課	歩行者・自転車・自動車それぞれが安全に安心して利用できる道路環境が整備されている		

3 【環境保護】分野の中間アウトカムに関する事業の評価

【資源環境部 環境政策課】

本区の事業評価では、基本構想に掲げる各分野の将来像を達成するための、具体的に目指すべき状態を中間アウトカムとしています。ここでは、中間アウトカムまたは事業目的の達成に向け、課題を有する計画事業がある場合に、その課題の内容と今後の方向性を記載します。

基本構想実施計画	
中項目	4-2 環境保護
将来像	環境にやさしい取組を推進するまち

中間アウトカム (A)		環境負荷の低減に配慮した都市整備が進んでいる			
事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	上水の節約につながる雨水タンクを平成31年度より助成対象機器に追加しました。			
	課題及び今後の方向性の内容	補助実績が下がっている助成対象機器は見直しを行い、省エネ効果の高い機器等をメニューに追加していきます。			
環01-01	環境改善舗装	道路課	治水対策など、都市環境の改善が図られている		
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている		
環03-01	街路灯LED化事業	道路課	環境にやさしい照明器具が導入されている		
災対03-05	シビックセンター改修	施設管理課 (保全技術課・整備技術課)	シビックセンターの環境負荷の軽減が図られている		

中間アウトカム (B)

各主体が環境負荷の低減について意識を高め、様々な取組を行っている

事業番号	事業名	主管課(関係課)	事業目的	方向性	
				前回(H30)	今回
環02-01	温室効果ガス排出抑制に向けた取組の推進	環境政策課	温室効果ガス排出抑制に関する理解が深まり、排出量が抑制されている	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減目標に達しておらず、これまで以上に区民・団体・事業者・区が削減に向け、取り組む必要があります。今後とも、アクションプランに基づいた行動を実践するとともに、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、新たな方針や具体的施策を検討していきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減に向け、区民・団体・事業者・区が、アクションプランに基づいた行動を実践しました。クールアースフェアにおいても、アクションを促すための普及啓発を行いました。また、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」において、新たな方針や具体的施策を検討するため、基礎調査を実施しました。気候変動対策に関する国内外の動向調査、区内におけるこれまでの取組の整理、計画の進捗管理として実施している既往調査等の基礎調査により、計画改定に必要なデータを得ることができました。			
	課題及び今後の方向性の内容	世界や国の目標達成に向け、さらなる排出削減が求められているため、「文京区地球温暖化対策地域推進計画」で設定した二酸化炭素排出量の削減に向け、これまで以上に区民・団体・事業者・区が、アクションプランに基づいた行動を実践するとともに、次期「文京区地球温暖化対策地域推進計画」全面改定に向けて、新たな目標や具体的施策等を協議会において検討していきます。クールアースフェアにおいても、引き続き周知・啓発に努めてまいります。			
環02-02	文京ecoカレッジ	環境政策課 (リサイクル清掃課)	低炭素社会・循環型社会等に関する理解が深まり、区民の主体的な取組が行われている	改善・見直し	改善・見直し
	前回の評価結果の内容	近年、受講者の年齢層の偏りや一部固定化等が進んでいるため、今後は環境ライフサポーターやリサイクル推進サポーターとして、若い世代や新規受講者を取り込みつつ、地域に根差した環境保全活動・リサイクル推進活動を行う人材を育成していきます。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	若い世代や新規受講者を取り込むため、休日に開講し受講の機会の拡充、現サポーターのスキルアップや活性化をめざし受講内容の充実を図りました。			
	課題及び今後の方向性の内容	新規サポーターの登録は緩やかですが増加傾向にあります。しかしながら、受講者の年齢層の偏りや一部固定化は依然として課題として存在しており、今後も若い世代や新規受講者を取り込むよう工夫を凝らした講座作りに努めていきます。			
環03-02	新エネルギー・省エネルギー機器導入の促進	環境政策課	住宅等への新エネルギーや省エネルギー機器の導入が進んでいる	拡充	拡充
	前回の評価結果の内容	国や都の地球温暖化対策に関する新エネルギー機器や省エネルギー機器の動向を把握するとともに、区民ニーズの変化に合わせた新規メニューを追加します。			
	前回の評価を踏まえたこれまでの取組状況	上水の節約につながる雨水タンクを平成31年度より助成対象機器に追加しました。			
	課題及び今後の方向性の内容	補助実績が下がっている助成対象機器は見直しを行い、省エネ効果の高い機器等をメニューに追加し、普及促進のため周知活動を行います。			
環01-02	みどりのふれあい事業	みどり公園課	まちの緑化が推進されている		
環02-03	ごみ減量と3Rによる循環型社会の形成に向けた取組の推進	リサイクル清掃課	3Rの推進、ごみ量の抑制などに関する理解が深まり、ごみが減量している		
環02-04	リユース(再使用)の推進	リサイクル清掃課	リユースに関する理解が深まり、ごみが減量している		
環04-01	資源の集団回収支援	リサイクル清掃課	資源の集団回収が活発に行われ、ごみが減量している		
環04-02	資源回収事業	リサイクル清掃課 (文京清掃事業所)	資源が有効利用され、ごみが減量している		
環04-03	事業系ごみ対策	リサイクル清掃課	事業系ごみの減量と適正処理が促進されている		

評価実施のチェックリスト

以下の各項目は、事業評価にあたって留意すべき視点です。課別評価シートの記入にあたって、これらの視点を踏まえて評価を行ったか確認し、それぞれの項にチェックを入れてください。

【課題の洗い出しの視点】

- 中間アウトカム等に影響を与える、社会状況の変化
- 中間アウトカム等に関連する、区民ニーズの変化
- 中間アウトカムの達成に向けた、各事業の貢献度(事業実績の推移)
- 「補助金ガイドライン」に沿った、適正な補助金の交付
- 障害を理由とした差別の解消・合理的配慮
- 男女平等参画や性的指向・性自認などへの配慮

【方向性の検討の視点】

- 中間アウトカム等の達成に向けた、より効果的・効率的な手段
- 中間アウトカム等の達成に向けた、より適切なサービスの提供主体(民間活力の活用)
- 中間アウトカムや事業目的が類似する事業との連携(整理・統合)
- 新規事業の必要性
- 投入する資源(予算・人員)の最適化・再配分